

取組実績については、以下のとおり

i)住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
戸別訪問の実施件数	30	10	10	10	10	10

ii)耐震診断実施者に対する耐震化促進
資料編のとおり

iii)改修事業者の技術力向上

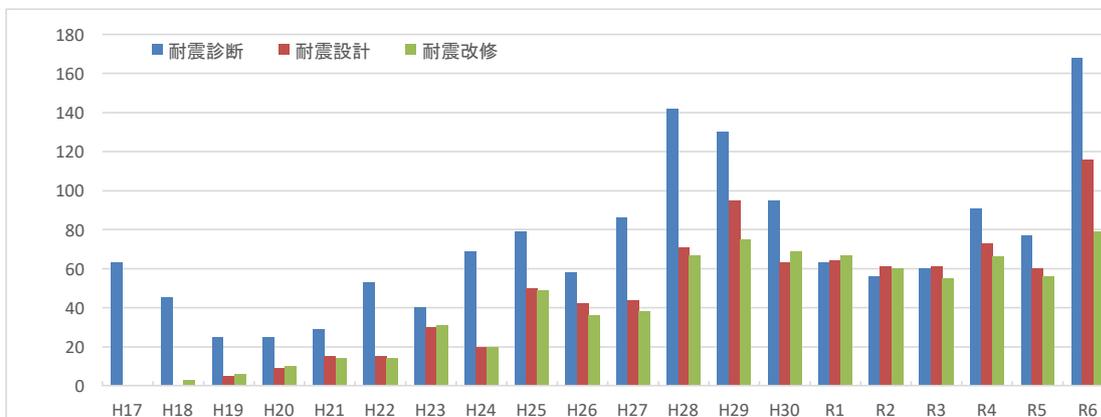
	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	3	3	4
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2 (オンライン)	9月~2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月~2 月(オンライン)	2(対面)、11月~2 月(オンライン)	2(対面)、9月~2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	—	1	2	1	2	2
耐震改修技術学校	—	—	—	1	2	2
耐震補強工事実務講習会	—	—	—	—	—	—

iv)一般への周知普及

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
広報誌等への掲載	5月号 7月号	5月号	5月号	5月号	5月号	5月号
庁舎内パネル展示	1月	1月	1月	1月	1月	1月

○耐震改修の実績

(棟数)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断	56	60	91	77	168	
耐震設計	61	61	73	60	116	
耐震改修	60	55	66	56	79	78



○前年度の取組内容

令和6年度は年間70棟を目標として住宅耐震の促進に取り組み、79棟の改修工事を完了できた。能登半島地震や豊後水道での地震発生に伴い、目標数を上回ることができたと考えられる。また、戸別訪問の実施、広報香美5月号に耐震改修補助事業の記事の掲載や1月には庁舎内でブース展示を行い、木造住宅の耐震改修事業の周知・普及・促進に取り組んだ。

○見えてきた課題

土佐山田地区に比べ、香北・物部地区での耐震改修実績が少ない。補助金上限額を15万円増やしたが、最低限の耐震化にかかる工事費が補助金上限額を上回り、自己負担の発生を理由に耐震工事を諦めたケースも複数見受けられた。

○今年度の取組内容

市役所ホールでの啓発パネル展示、既診断建物への意向確認、戸別訪問等、啓発活動を行う。

